

# HIC 通信

Hiroshima International Center

Vol. 75  
January 2012

新年明けましておめでとうございます  
本年も財団法人ひろしま国際センターをどうぞよろしくお願ひいたします

## 「鞆の浦散策ツアー」・「餅つき・しめ縄作り・そば打ち体験と神楽鑑賞」を開催しました!

11月13日(日)にふくやま国際交流協会と共催により、「鞆の浦散策ツアー」を開催しました。このツアーは日本文化理解促進事業のイベントの中でも最も人気のあるツアーで、今回も190名の方々にご応募いただき、その中から幸運にも選ばれた55名(19カ国)の方々に参加していただきました。

当日は、絶好の散策日和で、秋色に染まった美しい鞆の浦の町並みを散策しました。

参加者からは、「日本の文化がよくわかり、景色もきれいで、また行きたいと思いました」「ボランティアのみなさんがとても親切で、楽しかったです」など喜びの声が多数寄せられました。

また、12月11日(日)には、34名(14カ国1地域)の参加者とともに作木町門田地区を訪れ、「餅つき・しめ縄作り・そば打ち体験と神楽鑑賞」を開催しました。今回も門田地区の方々のご協力を得て、日本の伝統的な年末行事体験と神楽鑑賞をしていただきました。

昼食では、インド、インドネシア、台湾、イギリスの方たちに外国料理を調理してもらいました。門田地区の方たちも外国料理に舌鼓を打つとともに、その作り方にも関心をもっていらっしゃる様子でした。外国人の芸能披露では、中国の方による中国武術の披露、ペルーの方によるダンスの紹介をしていただき、みなさんの拍手喝さいを浴びていました。

その後上演された、門田神楽同好会のみなさんによる神楽鑑賞では、参加者の方々は熱心に見入っていました。

最後は、恒例のフォークダンスを踊り、門田地区の方たちとの心温まるふれあいのイベントは、盛況に終わりました。(HIC 大辻)



対潮楼にて記念撮影



作木町門田地区の皆さんと一緒に

### 《予告》

1月29日(日)に平成23年度最後の日本文化理解促進事業「雪生活体験」を開催します。

自然豊かな北広島町溝口地区を訪問し、地元の方々のご協力のもと、雪国の遊びや神楽鑑賞、地元・外国料理による交流会を予定しています。参加には事前申込みが必要です。詳しくは、HICのホームページをご覧ください。

問合せ先：(財)ひろしま国際センター交流推進課 大辻(おおつじ) TEL 082-541-3777

### 目次

2面	交流部だより	9面	Upcoming Events News
6面	国際プラザニュース	11面	Hello Hiroshima
7面	こちらJICAデスク	12面	HICからのお知らせ 他
8面	サミット加盟団体だより		

## 「平成23年度第2回奨学生交流会」を開催

12月7日(水)、本年度の奨学生(留学生奨学金受給者)62名と支援頂いております企業・団体の皆様、大学関係者など総勢122名が一堂に会し、交流を深めました。

今回の交流会では、広島大学の孟 琦(モウ キ)さんから、当センター高木会長へサプライズプレゼントがあり、会場は和やかな雰囲気に包まれました。そのプレゼントは剪紙(せんし)という中国の切り絵なのですが、一枚の紙を一本の刃物のみで切り抜くのが特徴だそうです。写真では分かりづらいのですが、切り抜かれた部分は全て繋がっており、孟さんの繊細な技の素晴らしさに驚かされました。剪紙は、数千年にわたって伝統があり、動植物や神話など、様々なものがモチーフになりますが、いずれも吉祥や瑞兆を現すデザインで、このたびは中国の出世魚である鯉を、立身出世の象徴と見立て、赤の色彩は広島東洋カーブを併せてイメージしたものです。

また、3名の方が奨学生を代表して、支援企業・団体や県民の皆様との交流状況、これからの希望について発表を行い、2名の企業・大学の方からも激励のコメントを頂きました。発表では、広島について感じたこと、大学での研究内容や留学生としての苦勞、支援企業・団体、県民のみなさんへの感謝の気持ちなど様々な内容について、流暢な日本語で発表していただき、参加者の皆様はその真摯な発表に熱心に耳を傾けていました。

支援企業・団体、大学関係者の皆様、ご出席並びにご協力ありがとうございました。

(H I C 河内)



孟さんから高木会長に贈られた剪紙



各テーブルでの記念撮影

◀左から 奨学生 ズオンティ ホア マイ さん、カルビー(株)広島西工場長 内田泰正様、広島修道大学国際交流センター長 今石正人様

## 「ひろしま国際塾」海外研修旅行(ベトナム)

ひろしま国際塾では、国際理解の促進と友好交流推進のため、講義・ワークショップに加えて、実際に海外に赴き、その国の歴史・文化、直面する諸問題に直に触れ国際理解を深める海外研修を実施しています。今年度は、塾長としてご指導いただいている広島修道大学の金原達夫教授を団長として9月3日～10日の日程で発展途上国の中でも近年世界からますます注目を集めている国のひとつであるベトナムを訪れました。1986年以降のドイモイ(刷新)政策のもと、目覚ましい経済成長を続け、ODAの最大の支援国である日本との結びつきの深いベトナムの現状を教育、産業、環境、文化など様々な角度から学びました。平均年齢が27.4歳というベトナムの若さを、街の活気、訪問先の小学校や大学の学生達、日本企業で働く人々の目の輝きから肌で感じる事ができ、また、現地の青年海外協力隊員の活動を目の当たりにし、日本とのつながりの深さを再認識しました。参加者は大学生5名を含む19歳～70歳の総勢19名のメンバーで年齢層が幅広く世代間交流もあり、相互に刺激のある有意義で楽しい研修となりました。(H I C 佐藤)



JICAベトナム事務所にて



広島企業 AS' TY VIETNAM INC で説明を受ける参加者



広島企業 TOYOTA HIROSHIMA TANCANG-HTにて

## 「多文化共生シンポジウム」を開催

9月17日(土)、県民のみなさまを対象に「多文化共生」についての理解促進を図るシンポジウムを開催し、基調講演、パネルディスカッション等を通して、130名の参加者に多文化共生について一緒に考えていただきました。

基調講演では、NPO法人多文化共生センター大阪の田村太郎代表理事が、将来直面する人口減少と少子高齢化という人口変動等に対し、外国人のためではなく地域の未来のために多文化共生に取り組む必要があることを訴えられ、新たな視点からの説得力ある内容に多くの参加者から理解が深まったとの感想をいただきました。

パネルディスカッションでは、帰国・外国人児童が全体の約4割を占める基町小学校の佛園弘修校長から、教育現場における多様性の尊重と地域とのつながりの重要性、ツネイシホールディングス(株)グループ人事戦略室の瀬戸靖明グループ長からは、外国人従業員の存在が職場のコミュニケーションの改善につながったこと等が語られた他、八千代病院の姜仁秀理事長からは、自身の経験や活動から外国人も日本の社会に役立つことを証明していきたいと熱い思いが語られ、それぞれ異なる立場からその活動や課題等について報告いただきました。

シンポジウムには、大学生から会社員まで幅広い年齢層の様々な職種の方にお集まりいただき、質疑応答やアンケートでは感想と共に貴重なご意見をいただきました。今後も国際センターとして、多文化共生社会の実現に寄与するよう様々な形で、継続的に取り組んでまいりたいと思います。

(HIC 地主)



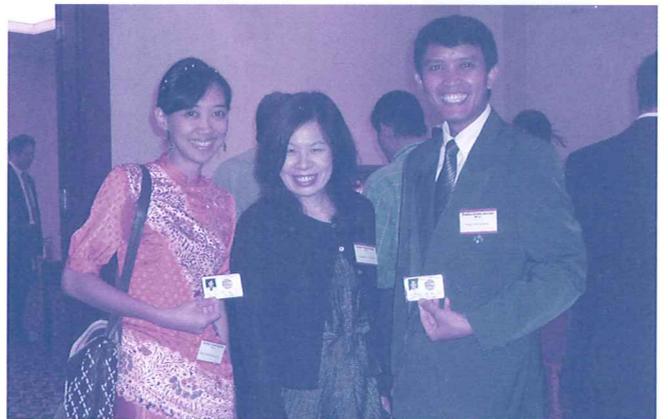
## 「広島国際クラブ運営事業」 in ジャカルタ

留学生など広島と関わりを持った外国人を会員として、帰国後も広島の情報発信することで友好の輪を広げる事業を行っています。

このたび、広島インドネシア協会(会長:広島ガス(株)田村興造社長)の親善訪問の中、10月12日(水)ジャカルタにて、広島大学の元留学生を中心とした広島国際クラブジャカルタ支部との交流を図ることが出来ました。

ひろしま国際センターのイベント「雪体験」で生まれて初めて見た雪に感動したお話、熱心なボランティアのおかげで日本語が上達したこと、県内文化施設等優待カードを活用して各地へ足を運んだ思い出等、改めて当センターの事業が彼等のお役にたっていたことを再認識する機会となりました。皆さん笑顔で旧交を温めていました。

(HIC 野口)



“HIC優待カード”を取り出した元留学生のご夫妻と一緒に

## 「国際交流・協力の日」に出展

11月20日(日)に広島国際会議場(広島市中区)で開催された「国際交流・協力の日」で、昨年に引き続き「地球ひろば」を運営しました。このイベントは、「学び」を基調として子供から大人までみんなに楽しみながら外国文化に触れていただき、興味を持っていただくことが目的です。当センターでは、「あそびひろば」を出展し、世界各国のじゃんけんや早口言葉、外国の方々が不思議に思う日本の文化や習慣を紹介しました。

「地球ひろば」では、予想を上回る約390名の方に来場していただき、大盛況となりました。

来年も来場者の皆様「世界を心と体で感じ、楽しめる」企画を実施いたしますので、ご期待ください。

(HIC 大辻)



インドネシアのじゃんけんを体験

### 「外国人相談・日本語学習支援窓口担当者研修会」を開催

6月、7月に引き続き、外国人相談・日本語学習支援窓口担当者研修会を日頃から外国籍住民と接する機会が多い市町の窓口・相談業務の担当者を主な対象として、10月21日(金)と10月31日(月)の両日にそれぞれ合同で開催しました。

21日(金)の研修会では、(財)しまね国際センターと安芸高田市から外国籍住民への支援取り組みの実践事例を報告していただき、特に3月に起こった東日本大震災を受け、(財)しまね国際センターからの「災害時外国人サポート制度」についての研修は関心も深く、参加者からの熱心な質問がありました。

また31日(月)の研修会では、地域で活躍されている日本語ボランティアの方々とを交え、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターより 杉澤 経子(すぎさわ みちこ)氏 を講師にお招きし、「多文化共生と地域日本語教室の役割」についてをテーマに、トランプを使っての異文化体験や講義では地域日本語教室の役割や問題点などについて、現場での経験や理論を交えながら大変分かりやすく説明をしていただき、多文化共生についての理解を深めていきました。

急な開催日程ではありましたが、両研修会には多くの方々に参加いただき、終了後のアンケートでは、「とても参考になった」「課題が共有できた」「連携の必要性が認識できた」等の感想があり、参加者にとって大変有意義な研修会になったのではないのでしょうか。

本年度の研修会はこれで終了となりましたが、市町の各担当者がこの研修会を契機として、外国籍住民にとって暮らしやすく、活躍できる環境づくりに一層取り組んでいただくことを期待しています。(H I C 當麻)

### 国際交流サミット「地域分科会」を開催



備北地域分科会

必要性について、活発な意見交換がされました。次のステップに繋げようとする気運も感じられた有意義な会となりました。

(H I C 野口)

県内の国際交流団体やボランティアグループ等間の情報交換や活動促進を図る活動を行っております。このたび、11月17日(木)に三次市にて「備北地域分科会」を11月29日(火)には福山市にて「備後地域分科会」を開催しました。

「備北」では、多文化共生事業を推進するにあたり備北3市(三次・庄原・安芸高田市)で相談・協議する場の必要性について、「備後」では、国際交流の広域拠点づくりの



備後地域分科会

### 「日本語ボランティア支援講座」を福山市で開催

「日本語ボランティア支援講座」を12月10日(土)にふくやま国際交流協会との共催により福山市で開催しました。講師に公益社団法人 国際日本語普及協会 日本語教師 松尾恭子先生をお迎えし、松尾先生が中心となって編集された学習者と共に作り上げる日本語教材「ことばの地図」を使って、あまり日本語の話せない外国人への学習支援方法についてご講義いただきました。地域の市民であるボランティアの役割、当事者に向かい合うこと、自然な日本語の会話をめざすことについてのお話を始め、後半は実際に「ことばの地図」を使った学習の進め方についてグループで話し合い、発表しました。「テキストの順番で教えるだけではないといけないと実感した」「その人が使いたい日本語を知る事が大切だと感じた」「現場で活動されているお話は本や雑誌では学べないことばかりだった」「ボランティアをやってみたくてという気持ちになった」など参加者は1日の講義でしたが多くの発見やヒントを得たようでした。

(H I C 佐藤)



(公社)国際日本語普及協会 日本語教師 松尾恭子先生

～ H I C外国人総合相談窓口 専門相談員紹介 ～

H I Cは広島県内で暮らす外国人の皆様が、安心して暮らしていただけるよう「外国人総合相談窓口」を開設しています。この窓口では、在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を、中国語をはじめとする6カ国語で提供しています。

71号（平成23年1月1日発行）より、窓口で相談業務に携わる専門相談員の方々をご紹介しますが、今回は第4弾をお届けします。



外国人総合相談窓口

【相談体制】

相談時間 (火・木) 9:00～12:00、13:00～16:00  
(土) 9:00～12:00

(専門分野)

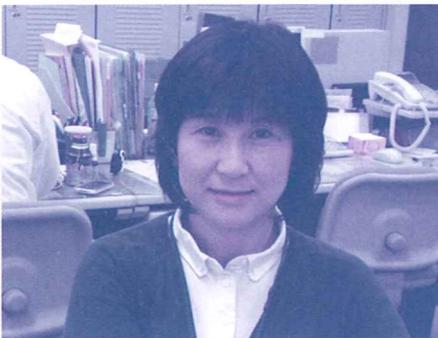
在留資格(VISA他)、社会保険、労働問題

(通訳)

・中国語  
・韓国語 (木) 午前のみ  
・英語 (土) のみ  
・ポルトガル語  
・スペイン語 (木・土) 午前のみ  
・フィリピン語 (火) 午前のみ

フリーダイヤル 0120-783-806  
携帯電話からは 082-541-3888 (直通)

- ①名前(ふりがな) / 国籍
- ②専門分野・対応する相談内容資格など
- ③専門分野に取り組んだきっかけ
- ④専門相談受付日時・相談内容
- ⑤ひと言



①向井 弘子(むかい ひろこ) / 日本

②・中国語通訳

・在留資格(ビザ)、社会保険、労働問題、生活相談 など

③相談窓口ができた時(平成18年(2006年)4月15日)からお世話になっております。

広島の方々に、安心して暮らして頂けるように少しでもお役に立ちたいと思ったからです。

④毎週火・木曜日 9:00～12:00、13:00～16:00

毎週土曜日 9:00～12:00

⑤言葉が通じないことは、とても不安なことですね。一人で悩まないで、困ったことがあれば、気軽にお電話または相談しに来てください。話すことで気持ちが楽になることもありますよ。ここには専門の先生がおられるので、きっと解決のヒントが見つかると思います。お待ちしております！

①藤本 貴史(ふじもと たかふみ) / 日本

②・在留資格、外国人の入国・在留に関するVISAについて、外国人の企業サポート、国際結婚・離婚、国籍変更の手続き(帰化許可手続き)

・行政書士 NPO法人ビザサポートセンター広島所属

③外国人の方の会社の起業を手伝って全幅の信頼を得られたこと。

④毎週火曜日・木曜日 9:00～12:00、13:00～16:00

毎週土曜日 9:00～12:00

⑤外国人の方にとって長期で生活をするためには、在留資格が重要になってきます。私たちは在留資格についてのアドバイスを通じて外国人の方が日本で快適に暮らせるようサポートしていきたいと思っています。分からないことがあれば気軽にご相談をしてください。



## ミニコンサート出演者・ロビー展示出展者を募集中

研修部ではアフリカや中南米、アジアなど、世界各国からの外国人研修員に、皆さんの特技や趣味を披露して下さる方を募集中です。レストランでの「ミニコンサート」で外国人研修員の夕食のひとつを彩ったり、「ロビー展示」で日本文化を紹介していただけませんか？ ご希望の方は下記の連絡先にお問い合わせください。

### 【ミニコンサート】

日時：水曜日の午後6時半～7時まで

内容：歌、楽器の演奏、踊り等

### 【ロビー展示】

展示期間：1～2週間

展示内容：生け花、ふるしき作品、写真、素描等



## ワールドクッキング教室を開催中



キルギスタン料理（平成23年11月）

世界の料理や文化を気軽に体験することができるワールドクッキング教室を開催中です。教室は月1回で、火曜日クラス・木曜日クラスの2クラスです。受講料は3回で4,500円です。時間は10時～14時です。木曜日クラスはまだ若干名空きがありますので、興味のある方は是非、お問い合わせください。

### 【参考～後期開催内容】

	第3回 1月	第4回 2月	第5回 3月
日 程	①17(火) ②26(木)	①14(火) ②23(木)	①13(火) ②22(木)
料 理	フィリピン料理	インドネシア料理	ボツワナ料理

※日程や料理の予定は、事情により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 世界まるごと体験デー開催（10時～14時 \*フリーマーケットは9時半～）

平成24年2月11日(土)にひろしま国際プラザで「世界まるごと体験デー」を開催します。日本や世界の文化をステージや体験コーナーを通して、楽しみながら学びませんか？ 通訳ボランティア・フリーマーケット（1区画500円・10区画先着順）の出店者も同時に募集中です。

また、情報センター・図書室では10時から18時まで、保存年限の過ぎた外国語新聞・雑誌などを無料でご提供するリサイクルフェアも開催します。外国語の学習、国際理解にお役立てください。

入場無料、事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。



## ねえ聞いて！ ワタシのお国自慢（13時半～15時）



平成24年2月18日(土)に「ねえ聞いて！ワタシのお国自慢」を開催します。ひろしま国際プラザに滞在中の外国人研修員が、映像や音楽を使って母国の紹介をします。

発表後は研修員との交流タイムもありますよ！

文化や習慣の違いを知る良いチャンスです。

お誘い合わせの上、お出かけください。

## お申込み・問合せ先

財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

(電話082-421-5900 FAX082-421-5751)

・事務室開室時間 月～金9:00～18:00

・情報センター・図書室開室時間 毎日10:30～19:00(平日は13:30～14:30休室)

URL : <http://hiroshima-ic.or.jp/hip/>

E-mail : [hicc@hiroshima-ic.or.jp](mailto:hicc@hiroshima-ic.or.jp)



## 広島から世界へ！ 1月上旬より、青年海外協力隊3人が、マラウイ・エチオピア・エルサルバドルの3カ国に向けて出発します！



### 赴任中の広島県出身 JICA ボランティア(人)

区 分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	26	26	52
シニア海外ボランティア	15	0	15
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	2	2

平成23年11月30日現在

### 【青年海外協力隊】（※左から氏名・派遣国・職種）

笹栗 加奈子	マラウイ	エイズ対策
生熊 麗	エチオピア	食品加工
原 まみほ	エルサルバドル	村落開発普及員

## ～広島県内で活躍する青年海外協力隊OB～

木村 哲也さん 平成17年度 ホンジュラス派遣 建築施工（東広島市出身）

平成23年10月8日(土)、東広島市にコミュニティFMラジオ放送局「FM東広島（周波数89.7MHz）」が開局した。毎日、朝7時から夜10時まで放送される番組の中で、毎週木・金曜日の17:00～17:59までの生放送を担当するパーソナリティが、地元・東広島市出身の元青年海外協力隊員、木村哲也さん（35歳）だ。毎回多彩なゲストを招き、持ち前の明るさと軽快なトークで番組を盛り上げる。しかし、木村さんはラジオパーソナリティを本業としているわけではない。木村さんの職業は「建築デザイナー」なのである。

今から約6年前、木村さんは周囲の反対を押し切り、青年海外協力隊に参加。中米ホンジュラスに建築施工隊員として派遣された。現地の人々と共に生活しながら、ホンジュラスにおける住みやすい住居づくりのため、2年間住宅建設・設計指導などの活動に携わり、現地の人々に惜しまれながら日本に帰国。そして、生まれ育った地元・東広島市で自分自身の夢であった建築設計事務所「木村哲也建築デザインオフィス」を開業したのだ。経営者として、日々仕事に追われながらも、広島県青年海外協力隊OB会の理事をはじめ、JICAが実施する「国際協力出前講座」の講師を積極的に引き受けるなど、日本に帰国してからも木村さんのバイタリティ溢れる活動は留まることを知らない。

そんな多忙な日々を過ごす木村さん。「なぜ新たにラジオのパーソナリティも始めたのか」と尋ねると、木村さんは「ラジオのパーソナリティは自分にとってもワクワクするような新たな挑戦。微力ながら地元の役に立てるだけでなく、自分自身も成長出来る貴重な“ライフワーク”になると直感した」と話してくれた。木村さんのモットーは、「何事にも本気で楽しみながら取り組む」ということ。「ホンジュラスでは、日本人が日々の豊かさの中で忘れてしまっている大切なことを教えてもらった」と話してくれたように、お金や損得、勝ち負けのためではなく、人がお互いを尊重し合いながら、楽しく笑顔で暮らせる日本社会を目指し、「木村哲也」という存在を通じて東広島から積極的に発信していきたいという熱い想いがひしひしと伝わってきた。これからも、東広島在住の熱血建築デザイナー“世界のキムテツ”から目が離せない。

(広島県JICAデスク 大塚)

### 【参考URL】

木村哲也建築デザインオフィスHP：<http://www.t-k-design.com/>FM東広島HP：<http://fmhigashi.jp/>もりてつや音楽教室HP：<http://moritetsuyadotto.ftw.jp/>

FM東広島のスタジオで、この日のゲストである地元出身の音楽家、もりてつやさん（左）と軽快なトークを繰り広げる「キムテツ」こと木村哲也さん（右）

### 【国際協力出前講座】

青年海外協力隊経験者やJICA関係者が、開発途上国や国際協力に関する話を『出前』します。この講座を通じて世界の途上国の現状について一緒に考えていきましょう。学校や地域活動関係者の皆さん、HIC配置の国際協力推進員までお気軽にご相談ください。

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/kaihatsu/demae/index.html>

(広島県JICAデスク 大塚)

1975年に在広のベトナム留学生支援を目的に設立された「アジア留学生奨学会（森元國行会長）」の組織を広島における日越間の多方面にわたる交流および協力関係が持続的に発展することを期して発展的に解消し、2002年10月17日に現在の「広島ベトナム協会」が設立され、広島とベトナムを結ぶ広範なネットワークの役割と機能を担う新たな組織として発展いたしました。

今、ベトナムが注目されています。広島においても経済活動および文化交流、医療、福祉支援、留学生支援など市民によるボランティア活動が活発に行われております。両国関係の発展の基盤である人的交流、文化交流を一層推進し、相互理解を深め、友好親善関係を推進するために、会員の拡大を図り、具体的な協力・支援活動を強化促進したいと存じます。

代表者 (会長) 林 辰也

会員数 法人会員37社 個人会員160人 (2011年1月現在)

事務所 広島市中区八丁堀15-10 セントラルビル9階

(事務局長) 阿部武弘 TEL : 082-511-5152 FAX : 082-511-8153

HP : <http://www11.ocn.ne.jp/~hva/index.html>

### 《協会の主な活動》

1. 広島在住のベトナム私費留学生の支援  
円滑な環境が整えられるよう幅広い生活支援、日本文化の理解に役立つ交流活動を行なう、大学入学時有償奨学金の貸与。
2. ホーチミン市のストリートチルドレン少女施設「The little Rose Warm Shelter」の施設補修費及び運営費の支援
3. 枯葉剤被害施設への支援  
ベトナム戦争で使用された枯葉剤の影響で生まれた障害児者施設を支援する活動。
4. 視覚障害児施設、貧困地区の老人ホーム、脳器傷患者収容施設の支援
5. ベトナム南部の貧困地区小学校の支援  
ドンタップ省タップムオイ県タンキウ村小学校へ奨学金の支援を行なう。
6. 家庭の事情で学費に困っている児童生徒の就学支援里親運動
7. テト祝賀会の開催
8. ヨットクルージングでの野外研修（海の日実施）
9. ベトナム料理講習会
10. ベトナム語講座
11. 年1回ベトナム友好親善旅行
12. 広島市主催「国際交流・協力の日」の参加

その他、新留学生（4月・10月）日本の生活習慣マナー向上研修会など活動を行っています。

※「テト祝賀会」を平成24年1月29日(日)に開催予定。(H I C通信 9 ページ Upcoming Event News に掲載)

# Upcoming Events News No.119

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせ下さい。

平成24年(2012年)1月分

## 内 容

<p>15日 (日)</p>	<p><b>上田宗箇流和風会 『縮景園大福茶会』</b></p> <p>若水を汲んでお茶を点て、一年の無病息災を祈る恒例のお茶会です。 大福茶は薄茶の中に梅干、黒豆、山椒の実を入れたもので、縁起の良いお茶として新年によく飲まれます。男子点前の凛々しさも見ごたえがあります。</p> <p>時 間 10:00~15:00 (受付時間) 場 所 広島県縮景園 参加費 1,200円 (別途入園料が必要) 問合せ 上田宗箇流和風会 担当者 佐々木育生 (事務局長) TEL: 082-271-5307</p>
<p>22日 (日)</p>	<p><b>広島県国際交流協会 『1月講演会』</b></p> <p>A short discussion: The shift toward renewable energy A presentation entitled "A Canadian Girl's Experience Living in Germany: German Culture &amp; Life" will be given by Ms. Nicole Hemmer on January 22nd, the fourth Sunday, at 1:00PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "Lover's Concerto." Following the song, the above mentioned concern will be discussed briefly.</p> <p>時 間 13:00~ 場 所 ラウンジ 尾道市久保3-14-18 問合せ 広島県国際交流協会 松浦 TEL: 0848-37-3518 E-mail: matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/</p>
<p>29日 (日)</p>	<p><b>国際交流ボランティア フィーラス華 『第11回 外国人による日本語スピーチ大会』</b></p> <p>外国人10名による日本語スピーチ大会と交流会です。1人が5分程度の時間内で日本の印象や出来事、母国の紹介などをしてもらいます。順位は決めません(コンテストではありません)。終了後は、スピーチ者と聞きに来てくれた人と一緒に茶菓子をいただきながら交流します。これは、フィーラス華と推進協議会との共催です。</p> <p>時 間 14:00~16:00 場 所 尾道市総合福祉センター 参加費 無料 問合せ 尾道市国際交流推進協議会 尾道市秘書広報課 TEL: 0848-25-7377</p> <p><b>ふくやま国際交流協会 『楽しく作る韓国のおいしいお節』 国際料理教室+ミニ講座</b></p> <p>浦項(ポハン)市派遣職員の金 榮環(キム ヨンギョン)さんに韓国のお正月料理を教えてください。そして、韓国のお正月や浦項市についてミニ講座を行う予定です。</p> <p>時 間 10:00~14:00 場 所 三吉コミュニティーセンター2階 実習室 対 象 ふくやま国際交流協会会員及び市民 定 員 20人(会員&amp;外国人優先・先着申込順) 参加費 会員・外国人 900円 一般 1,000円 *受付開始:1月4日(木) 問合せ ふくやま国際交流協会(市民相談課内) 横田 洋子 TEL: 084-928-1002</p> <p><b>広島ベトナム協会 『テト祝賀会』</b></p> <p>在広ベトナム留学生による祝賀料理、並びに踊り、合唱、協会員による踊りなどを行います。</p> <p>時 間 12:30~15:00 場 所 広島市留学生会館 定 員 80人(協会員含む) 参加費 3,000円 問合せ 広島ベトナム協会 担当者 阿部(事務局長) TEL: 082-511-8152 FAX: 082-511-8153</p>

内 容

<p>12日 (日)</p>	<p><b>上田宗箇流和風会 『縮景園梅見茶会』</b></p> <p>春を告げる梅の開花に合わせ、本席清風館と芳香漂う梅林に甘酒席を設けて開催する恒例のお茶会です。園内には紅梅・白梅併せて17種類、約110本の梅の木があります。その内約100本が梅林にあります。</p> <p>時 間 10:00~15:00 (受付時間) 場 所 広島県縮景園          参加費 1,400円 (別途入園料が必要)          問合せ 上田宗箇流和風会 担当者 佐々木育生 (事務局長) TEL:082-271-5307</p>
<p>26日 (日)</p>	<p><b>国際交流 「人参の会」 『国際交流フェスタ』</b></p> <p>○音楽や踊りの出し物 ○色々な国の料理の試食          ○異文化交流 ○パネルディスカッション</p> <p>時 間 12:00~15:30 場 所 三原中央公民館          定 員 200人 参加費 500円          問合せ 国際交流「人参の会」 岩崎 TEL:0848-36-6725          E-mail: yuuki_rocket_peter@hotmail.com</p>

**予告 ひろしま国際交流サミット総会 開催のお知らせ**

神戸から多言語センターFACIL理事長“吉富 志津代 (よしとみ しづよ) さん”を講師に迎えます。

この機会に私たちに出来る国際協力を一緒に考えてみませんか? (ワークショップは初の取組み!)

参加には、会員の如何を問いません。皆さんの参加を歓迎します!!!

**※事前申込み必要! 希望者には、詳細なご案内と申込用紙をお送りします。**

日 時 平成24年2月18日(土) 13時~18時20分(予定)

内 容 総会、講演会、ワークショップ、交流会  
(一部参加も可)

場 所 広島ガーデンパレス  
(広島市東区光町1-15)

講演内容

国際協力を現場から考える  
今、私たちに出来ること  
—神戸と東日本の事例から—

※講演後、吉富様の進行のもと  
ワークショップを実施します。



~吉富 志津代さんのプロフィール~

NPO法人多言語センターFACIL理事長/大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授。  
神戸大学修士(国際学)、京都大学博士(人間・環境学)。

中南米の領事館勤務を経て、1995年の震災後は、コミュニティラジオ局FMわいわいの立ち上げに関わり、多言語環境の促進や外国にルーツを持つ青少年育成のための活動を切り口に、外国人自助組織の自立支援活動に従事する。

お問合せ先 (財)ひろしま国際センター 担当:野口 (のぐち)  
〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階  
TEL:082-541-3777 FAX:082-243-2001 E-mail: hic03@hiroshima-ic.or.jp

By Guillaume Lamothe

Coordinator of International Relations, Hiroshima Prefecture

Once again, hello, and a Happy New Year everyone! I hope that New Year's Resolutions have been made, broken, and then made again (no matter how many times you fall, it's getting up that counts)!

Disregarding my own resolutions, in this edition I would like to speak about a completely different matter: multiculturalism, or 多文化主義 in Japanese. "But why," you might ask, "do you want to speak about that?" Well, as a member of a cultural minority (Canadian) in Japan, multiculturalism is obviously very dear to me. At a basic level, I enjoy both sharing my culture, and constantly discovering new things about Japan. This topic, however, is not only important for foreigners like me: you see, for Japan, achieving a good level of multiculturalism might very well be a matter of life and death. And I'm not exaggerating.



A few weeks ago, I attended a seminar in which a Japanese employee of CLAIR (the Council of Local Authorities for International Relations) made a very striking presentation: the Japanese population is ageing, he said. What's more, it's ageing faster than anywhere else in the world. Now, this wouldn't be much of a problem, except that immigration to Japan (unlike, for example, immigration to the United States or Canada) is not nearly enough to cover this decline. In fact, if current trends continue, the U.S. Census Bureau estimates that Japan will lose about 18% of its labour force by 2030, and the Japanese Government estimates that by 2025, it will spend about 27% of all of its income on welfare programs for the elderly.

Unless Japanese birthrates rise significantly (an unlikely prospect) there is only one way to prevent the many social and economic problems that will come with an ageing population: bring in immigrants to make up the difference. But here is the catch: all immigrants must come from somewhere. All immigrants have their own culture, and their own unique background. So it is up to Japanese society to open itself up and help these people settle in. It is up to Japanese society to become more multicultural.

"But wait," you might say, "these immigrants are coming to Japan. It is up to them to adapt to Japanese culture, not the other way around!" Maybe, but consider the failure of Japan's first try at bringing in large numbers of immigrants: the Brazilian Nisei workers of the mid-1990s. When these people came, there was nothing prepared here to help them settle in. Their children, not speaking Japanese, couldn't succeed in school. They, not having any Portuguese-speaking doctors, couldn't get medical help. In the end, despite being "ethnically" Japanese, most of them went back home to Brazil. It's very clear that to make immigrants from other countries feel at home, Japanese society must become more multicultural, not because it needs to fundamentally change, but precisely because it needs learn how to help foreigners understand and fit into the Japanese lifestyle.

This is why I think that centers like the HIC are so important. The HIC is not only a place where foreigners and Japanese people can learn a little about each other's cultures, and then not see each other again. It is a place where cultural exchange can be used to make people from other countries to build a life here find help, and feel welcome.

The next step is to take this friendly and open attitude towards foreigners and immigrants that we have in the HIC, and to teach everyone who never comes to the Center how to also have it in their daily lives.

# Hiroshima Calendar

Date	Event	Location
Jan. 8	Tondo Festival	Bokoku Shrine
20	Momote Festival (Archery)	Miyajima
Feb. 3	"Setsubun"	
	Bean Scattering Festival	Miyajima
Mid.	Daruma Festival	Mihara
Mar. Mid.	Kiyomori Festival	Miyajima
Jan.~Feb.	Oyster Festivals	Across the Prefecture
Mid.Feb.~	Hina Dolls Exhibitions	Tomonoura, Miyajima

## Editor's notes:

Here we are at the beginning of a new year, with a little bit of information on events to help you endure the cold and dark months of winter. Personally, I will be pulling out the kotatsu and trying to hibernate my way to March (with a little bit of skiing for good measure!) As always, if you have any questions or comments, please feel free to e-mail me at hic05@hiroshima-ic.or.jp  
- Guillaume

## ■留学生支援奨学金へのご協力をお願い■

広島県内には、現在2,700名を超える外国人留学生がありますが、諸物価の値上がりの中で私費留学生の生活は以前にも増して厳しくなっております。このような状況の中で留学生が安心して勉学に励むため、(財)ひろしま国際センターでは以下のような留学生への奨学金支給事業を行っています。皆様のご支援・ご協力をお願いします。

### 県民支援留学生奨学金 (外国人留学生支援の会)

県民の皆様から1口5,000円/年のご寄附をいただき、いただいたご寄附を合わせて留学生1名当たり月額3万円の奨学金を1年間支給します。72口のご寄附が集まると1名の留学生に奨学金を支給することができます。ご寄附は随時受け付けております。

なお、当センターは、特定公益増進法人(所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に掲げる法人)として認定されており、ご寄附については、税制上の特例措置を受けることができます。



## 財団法人ひろしま国際センター

HIROSHIMA INTERNATIONAL CENTER

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階

Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL : (082)541-3777 FAX : (082)243-2001

URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>

(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>

E-mail: [hic@hiroshima-ic.or.jp](mailto:hic@hiroshima-ic.or.jp)

